

**第2期 東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(案)**

令和2年●月

東郷町

— 目 次 —

1. 基本的な考え方	1
1.1. 基本姿勢	1
1.2. 目標年次	1
1.3. 総合戦略の位置付け	2
1.4. 国及び愛知県の総合戦略.....	3
1.5. 第1期の成果と課題.....	4
2. 策定に当たっての視点	8
2.1. 3つの視点（まち・ひと・しごと）	8
2.2. 新たな視点.....	10
3. 基本目標と施策	11
3.1. 基本目標1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	12
(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める	13
(2) 創業支援体制を構築する	13
(3) 地産地消による農業の活性化を目指す	14
(4) 全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する	14
3.2. 基本目標2 新しいひとの流れをつくる	15
(1) 魅力あるまちの中心核をつくる	16
(2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する	16
(3) ふるさと納税を活用して地域活性化を図る	17
3.3. 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	18
(1) 妊娠・出産を支援する	19
(2) 安心して子育てができる環境をつくる	20
(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する	21
3.4. 基本目標4 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	22
(1) 公共交通の基盤整備・機能強化を進める	23
(2) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む	24
(3) 地域の安全・安心を強化する	24
(4) 産官学等の連携を強化する	25
(5) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	25
4. 資料編	26

1. 基本的な考え方

1.1. 基本姿勢

本町では、平成23年（2011年）3月に「第5次東郷町総合計画（2011－2020）」を策定し、「人とまち みんな元気な 環境都市」を将来都市像に掲げ、「健康で元気に暮らせるまち」、「次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち」、「参画と協働で自立するまち」、「安全で環境にやさしいうるおいのあるまち」、「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」の5つの基本目標のもと、各種施策を展開しています。

国においては、人口減少・超高齢社会の到来、東京への人口一極集中という課題に対応していくため、まち・ひと・しごと創生本部を設置し、平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、地方創生によりこれらの課題を克服しながら、活力ある日本社会の維持、地方からの日本の創生を目指しています。

これを受けて本町においても、平成28年3月に本町の目指す人口の将来展望を設定する「東郷町人口ビジョン」と、人口ビジョンで定める人口の将来展望の実現に向けて必要な施策の推進を図るための「東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に向けた取組を推進してきました。

第2期総合戦略の策定に当たっては、国、愛知県の人口ビジョン及び第2期総合戦略において、第1期の基本的な枠組みが維持されていることから、本町においても、長期的な取組として地方創生を推進するため、第1期の枠組みを継承することを基本姿勢とします。

なお、「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」で示された「第2期における新たな視点」や国、愛知県の第2期総合戦略を踏まえて、施策の拡充等を図り、「東郷町人口ビジョン」で定める人口の将来展望の実現を目指します。

1.2. 目標年次

「総合戦略」には、本町におけるまち・ひと・しごと創生に関する基本目標、数値目標並びにその達成に向けて取り組むべき施策の基本的方向、具体的施策及び重要業績評価指標（K P I）※を定めます。

「総合戦略」は、令和6年度（2024年度）を目標年度とする、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5か年の戦略とします。

また、毎年度P D C Aサイクルによる検証を行い、必要に応じて見直しを行います。

※重要業績評価指標（K P I）

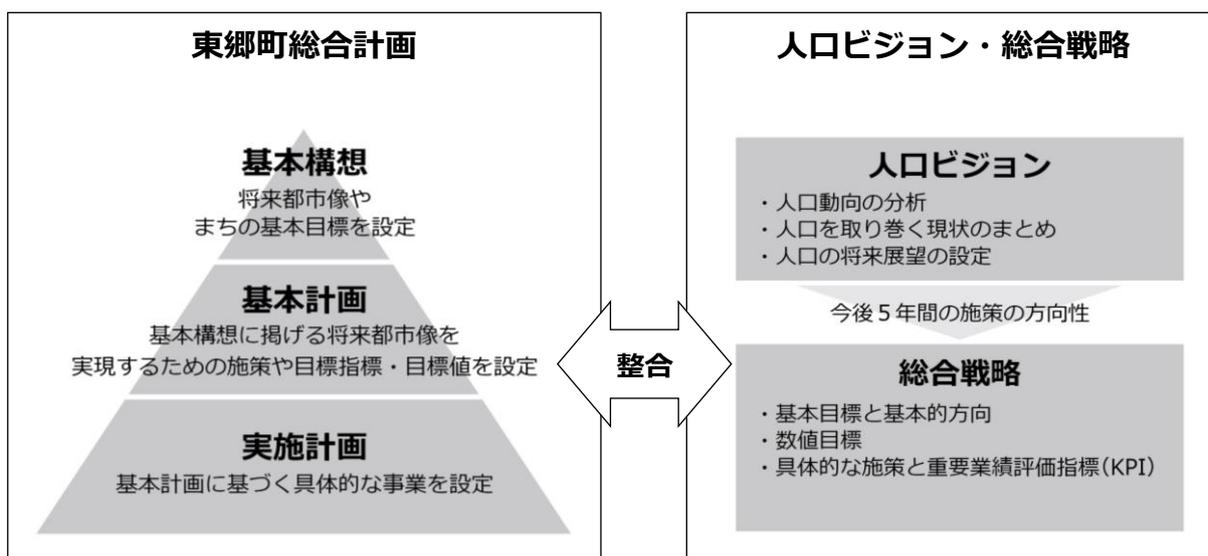
Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のこと

1.3. 総合戦略の位置付け

「まち・ひと・しごと創生法」第10条の規定に基づき、国及び愛知県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、本町の実情に即した基本的な計画を「総合戦略」として策定します。

また、総合戦略は、東郷町総合計画を上位計画とし、整合を図りながら策定します。さらに、総合計画に掲げた将来都市像の実現を目指していくことを基本とし、国の戦略における4つの基本目標を踏まえながら、「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点に重点を置いた戦略とします。

【東郷町総合計画と人口ビジョン・総合戦略との関連イメージ】



1.4. 国及び愛知県の総合戦略

国、愛知県の第2期総合戦略は、それぞれ次のように定められています。

【国の第2期総合戦略】

<地方創生の目指すべき将来>

- 将来にわたって「活力ある地域社会」の実現
- 「東京圏への一極集中」の是正

<基本目標・横断的な目標>

- 基本目標① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- 基本目標② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
- 横断的な目標① 多様な人材の活躍を推進する
- 横断的な目標② 新しい時代の流れを力にする

※第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月20日閣議決定）より

【愛知県の第2期総合戦略】（骨子）

<重視すべき視点>

- ①時代の流れを力にした産業革新・集積
- ②人材を育て、生かす
- ③新たな魅力の創造と発信
- ④若い世代の希望をかなえ、誰もが活躍できる社会
- ⑤バランスのとれた持続可能な地域づくり

<基本目標>

- 基本目標① しごとづくり
- 基本目標② 魅力づくり
- 基本目標③ 人の流れづくり
- 基本目標④ 結婚・出産・子育て環境づくり
- 基本目標⑤ 暮らしの安心を支える環境づくり
- 基本目標⑥ 活力ある地域づくり

※第2期「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）」（令和元年11月時点）より

1.5. 第1期の成果と課題

第1期総合戦略では、「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点を踏まえて、4つの基本目標を掲げ、地方創生に向けた取組を推進してきました。

基本目標ごとの達成状況や各施策の成果と課題は、以下のとおりです。

【数値目標の達成状況】

基本目標	指標	策定時① (平成27年度)	実績値② (平成30年度)	目標値③ (令和元年度)	状況
1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	町内従業者数	12,365人	12,704人	14,500人	➡
	東郷町内で働く町民の数	5,810人	6,082人	6,300人	➡
2 新しいひとの流れをつくる	転入超過数(年間)	266人	310人	300人	➡
	昼夜間人口比率	79.7	79.3	85.0	⬇
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	1.67	1.50※	1.8	⬇
	安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	44.3%	50.0%	50.0%	➡
4 健康で、安全な暮らしを守る	東郷町に住みたいと考える町民の割合	78.1%	81.7%	83.0%	➡
	健康寿命の延伸	男性 79.86歳 女性 84.44歳	男性 80.90歳 女性 84.55歳	延伸	➡

「状況」は、策定時①に対し実績値②が「向上」(➡)、「低下」(⬇)、「横ばい」(➡)を示す
※平成29年度数値

【重要業績評価指標(KPI)の達成状況】

■基本目標1 しごとをつくり、安心して働けるようにする

施策	指標	策定時① (平成27年度)	実績値② (平成30年度)	目標値③ (令和元年度)	状況
(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める	新規誘致企業数 (数値は年度末累計)	4社	10社	6社	➡
(2) 創業支援体制を構築する	新規創業者数 (数値は年度末累計)	—	37人	30人	➡
(3) 地産地消による農業の活性化を目指す	給食における東郷町産食材の使用数	8品	16品	11品	➡
	認定農業者数	6人	6人	10人	➡

■基本目標2 新しいひとの流れをつくる

施策	指標	策定時① (平成27年度)	実績値② (平成30年度)	目標値③ (令和元年度)	状況
(1) 魅力あるまちの中心核をつくる	セントラル開発における幹線道路整備率	—	38.1%	100%	➡
	便利な魅力のあるまちの中心地がつけられていると感じている町民の割合	42.6%	47.1%	64.0%	➡
(2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する	東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	67.8%	66.5%	73.0%	⬇
	とうごうチャンネル（東郷町PR動画）の累計動画再生数	—	月379回	月1,000回	➡
(3) ひとの流れをつくる基盤整備・機能強化を進める	巡回バス利用者数	165,639人	179,805人	170,000人	➡
	バスなどの公共交通機関の整備に満足している町民の割合	14.8%	13.4%	21.6%	⬇

■基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策	指標	策定時① (平成27年度)	実績値② (平成30年度)	目標値③ (令和元年度)	状況
(1) 妊娠・出産を支援する	初産婦のパパママ教室参加率	45.7%	39.8%	50.0%	⬇
(2) 安心して子育てができる環境をつくる	子育て支援専用サイト訪問者数	—	登録者106人	月500人	➡
	とうごうチャンネル（子育て施策PR動画）の累計動画再生数	—	月105回	月1,000回	➡
	保育所待機児童数（各年度翌4月1日現在）	6人	0人	0人	➡
	子育て支援拠点施設利用者数	51,847人	27,496人	55,600人	⬇
	一時保育利用者数	1,256人	2,226人	1,800人	➡
(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する	女性の活躍推進に関するセミナー参加者数	—	21人	30人	➡
	パパママ教室の男性参加率	33.5%	37.5%	50.0%	➡

■基本目標4 健康で、安全な暮らしを守る

施策	指標	策定時① (平成27年度)	実績値② (平成30年度)	目標値③ (令和元年度)	状況
(1) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む	とうごうチャンネル (東郷町PR動画:地域の伝統文化)の累計動画再生数	—	月107回	月1,000回	
	地域で共に助け合い、支え合う風土があるとする町民の割合	29.1%	30.3%	34.0%	
(2) 地域の安全・安心を強化する	普段から防犯に心がけている町民の割合	66.1%	65.1%	74.0%	
	地震や風水害などの災害に備えている町民の割合	44.1%	39.6%	46.0%	
(3) 産官学等の連携を強化する	大学等と連携して取り組む事業数(数値は年度末累計)	2事業	5事業	4事業	
	近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で新たに連携が行われた件数(数値は年度末累計)	2件	9件	5件	
(4) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する	特定健診受診率	47.2%	45.4%	65.0%	
	胃がん検診受診率	14.6%	13.7%	50.0%	
	乳がん検診受診率	24.3%	28.1%	50.0%	
(5) 高齢者の社会参加を推進する	高齢者ボランティア登録者数	—	112人	100人	

「状況」は、策定時①に対し実績値②が「向上」()、「低下」()、「横ばい」()を示す

【基本目標 1 の成果と課題】

- 町内従業者数や東郷町内で働く町民の数は、平成 30 年度末時点では目標値（令和元年度）に達していませんが、第 1 期総合戦略策定時（平成 27 年度）と比べて増加しており、企業誘致や創業支援に関する取組が一定の成果を挙げていると考えられます。
- 町の産業のさらなる活性化を図るため、引き続き新たな産業の誘致や創業支援の取組を推進するとともに、農家の高齢化や後継者不足が大きな問題となっている農業について、新規就農者の育成を行うなど、農業の活性化を目指していくことが必要です。

【基本目標 2 の成果と課題】

- 年間の転入超過数は、平成 30 年度末時点で既に目標値（令和元年度）を上回る成果となっています。一方、昼夜間人口比率は、第 1 期総合戦略策定時の数値（79.7）を下回っており、依然、昼間人口が少ないベッドタウンとしての特徴を有しています。
- 新しいひとを呼び込んでいくためには、東郷中央土地区画整理事業等により、まちの中心核を形成する取組を推進し、大規模商業施設の開業に伴う就業者数の増加を図り、日中のまちの賑わいの創出につなげることが求められます。また、シティプロモーション等により、まちの魅力を発信していくことが必要です。さらに、第 2 期では、新たなひと・カネの流れをつくる取組として、ふるさと納税を活用した地域の活性化を図ることも重要です。

【基本目標 3 の成果と課題】

- 合計特殊出生率は、年ごとにばらつきがあり、目標値（令和元年度）の達成は厳しい状況です。一方、安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合は 50.0%と目標値（令和元年度）を達成しています。
- 今後も第 1 期総合戦略の各施策を継承して、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うことにより、町民の満足度向上や合計特殊出生率の向上につなげていくことが必要です。また、女性だけでなく、高齢者や障がい者の方等、誰もが活躍できる地域づくりという視点も重要となっています。

【基本目標 4 の成果と課題】

- 東郷町に住み続けたいと考える町民の割合は、目標値（令和元年度）に近い数値に近づくことができ、健康寿命についても男女ともに第 1 期総合戦略策定時よりも延伸しています。各施策の推進によって、「健康で、安全な暮らしを守る」という基本目標の達成につながったと評価できると考えられます。
- 今後は、第 1 期総合戦略の施策を一層積極的に推進することで、より安心して暮らせる地域づくりを目指すとともに、地域交通の維持・確保等を図ることにより、魅力的な地域づくりを進めることが必要です。

2. 策定に当たっての視点

2.1. 3つの視点（まち・ひと・しごと）

「総合戦略」の策定は、以下の3つの視点を踏まえて行います。

視点1 まちの創生 町民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

国では人口減少局面に入り、愛知県においても近い将来人口減少が始まることが予測されています。本町においては、現在は人口増加が続いていますが、独自推計に基づく将来人口の見通しでは、令和12年（2030年）をピークに人口減少に転じる見込みとなっています。今後は、人口減少や少子高齢化に適応する観点から、本町の魅力、財産である豊かな自然を計画的に残しながら、将来にわたって豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが重要です。

一方で、より住み良いまちにしていくためには、現状を維持していただくだけではなく、必要に応じた開発も行っていく必要があります。

このような中、「東郷町立地適正化計画」や「東郷町都市計画マスタープラン」、「東郷セントラル地区低炭素まちづくり計画」のもと、環境に配慮しながら東郷中央土地区画整理事業を核とする「セントラル開発」を推進しています。この開発を通じて、本町の中心核を形成するとともに、少子高齢化社会に対応できる本町の地域特性を踏まえたコンパクトなまちづくりを進め、都市機能の集約や交通ネットワークを構築し、まちの活性化を図ります。

視点2 ひとの創生 地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

本町では、若い世代を中心に転入者数が転出者数を上回る社会増となっており、それに伴って国や愛知県に比べて若い人口構成となっています。また、若い世代が多いことにより出生率が高く、出生数が死亡数を上回っていることから自然増となっています。

こうした状況が、まちの活力を生み出す原動力となっており、本町の様々な魅力を発信していくことで、町外からの流入を維持するとともに、すでに本町に住んでいる人からも、「今後も住み続けたい」と思われるまちにしていくことが必要です。

また、子どもを安心して産み、健やかに育てやすい環境を整備するとともに、将来の東郷町を創造し、担っていくことのできる人材育成の視点に立った教育の充実を図り、若い世代が自らの希望をかなえられるまちづくりを推進します。

さらに、若い世代や女性、高齢者や障がい者等、誰もが地域づくりの担い手として参画・活躍できるまちを実現することにより、将来の東郷町を支える多様な人材の確保につなげます。

視点3 しごとの創生 地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

本町は、名古屋市、豊田市等の多数の就労の場がある地域へ通勤が可能な立地であるため、人口の増加に伴って就業者数は増加しているものの、町内で就労する人の割合は減少傾向にあります。

また、本町はもともと農村地域であり、現在でも稲作を始めとする農業が町内全域で営まれています。農業従事者の高齢化や担い手不足は一層厳しさを増しています。

農地は、農業を営む基礎であるとともに、緑豊かな本町の景観を構成する重要な要素であり、災害防止や環境負荷を低減するなど、多面的機能を有していることから、耕作放棄地の抑制、計画的な優良農地の保全を図っていくことが必要です。

一方で、工業においては、「愛知ブランド企業」に選ばれる優良な企業が多数立地するほか、東名三好インターチェンジへのアクセス利便性に優れた幹線道路沿道を中心に、工場機能や物流機能等の新規立地が増加しています。

さらに、商業では、セントラル開発に伴う大型商業施設の立地により、多くの雇用先が見込まれるなど、「しごと」に関する様々なポテンシャルを有しています。

こうしたことを踏まえ、町内の有するこれらの資源を有効に活用し、雇用の創出、企業の誘致を進めていくことで、産業のさらなる振興を図り、都市近郊のベッドタウンとしてだけでなく、まちとして自立し、持続的に発展していく基盤づくりを行います。

2.2. 新たな視点

国の第2期「まち・ひと・しごと総合戦略」で新たに追加された2つの視点（横断的な目標）を踏まえて、「総合戦略」を作成します。

新たな視点1 多様な人材の活躍を推進する

地方創生の一層の推進のため、多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に進めます。

活気あふれる地域をつくるため、若者、高齢者、女性、障がい者、外国人等、誰もが居場所と役割を持ち活躍できるまちづくりを進めます。

新たな視点2 新しい時代の流れを力にする

Society5.0¹の実現に向けた技術（未来技術）は、自動化による人手不足の解消や、地理的・時間的制約の克服が可能であり、まち・ひと・しごとのあらゆる分野において、住民の生活の利便性と満足度を高める効果や地域の魅力を高める効果が期待されています。このため、未来技術の活用の推進を目指します。

また、国は、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するに当たっては、持続可能な開発目標（SDGs）²の理念に沿って進めることにより、政策全体の全体最適化や地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取組の一層の推進につなげることができるとしています。本町においても、SDGsの要素を総合戦略に取り込み、地方創生の推進に取り組みます。

■SDGsの17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



¹ Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のことをいう。

² SDGs

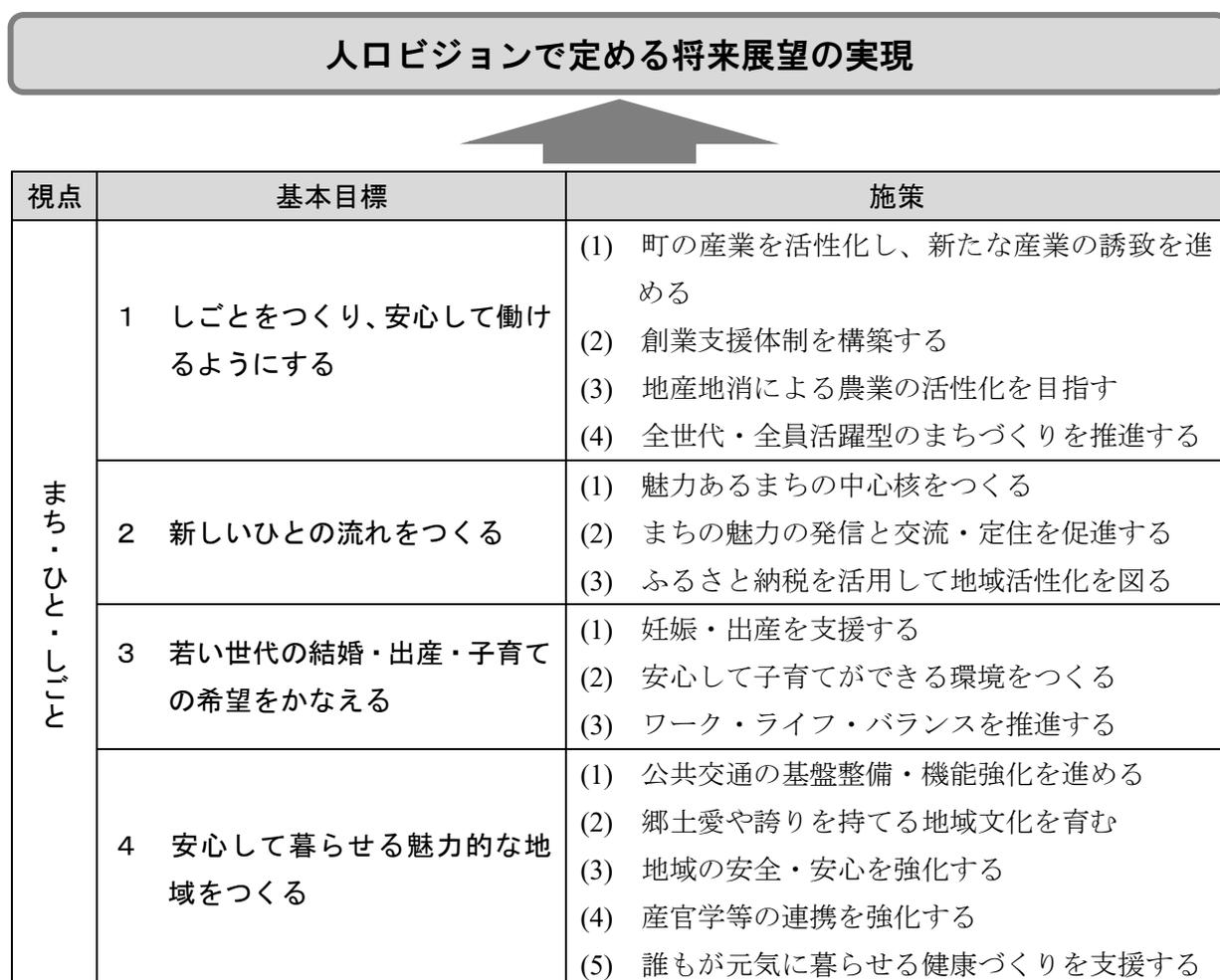
Sustainable Development Goals の略。2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の開発目標。

3. 基本目標と施策

「人口ビジョン」で定める本町の将来展望の実現に向けて、「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点を踏まえて、「総合戦略」の推進に向けた4つの基本目標を掲げます。その基本目標に「数値目標」を設定し、その実現のための具体的な施策及び事業を提示します。さらに、取組の進行管理として、施策ごとに「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。

なお、基本目標に対する数値目標及び施策に対する重要業績評価指標（KPI）の現状値は、特に記載のない限り、平成30年度（2018年度）時点の実績値とし、目標値は、令和6年度（2024年度）時点の数値とします。（ただし、「町民の割合」といった指標については、目標年次に一番近い住民意向調査等の数値とします。）

【戦略の推進体系】（案）

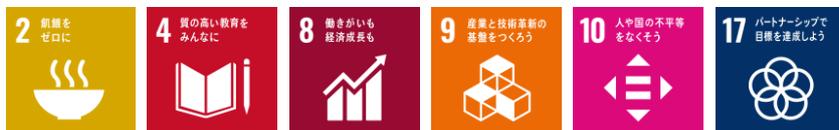


※次頁以降では、施策を推進することにより達成に寄与するSDGsの目標に関するアイコンを基本目標ごとに掲載します。

3.1. 基本目標 1 しごとをつくり、安心して働けるようにする

基本目標 1

しごとをつくり、安心して働けるようにする



これまでの取組

- 町の産業振興及び雇用拡大のため、開発の意向のある企業への訪問等、企業誘致を促進しました。新規誘致企業数は、平成 27 年度の 4 社から、平成 30 年度には 10 社まで増加しました。
- 東郷中央土地区画整理事業区域内に出店する大規模商業施設の事業予定者と調整を進めました。
- 地域における創業を促進するため、民間の創業支援事業者と連携し、ワンストップ相談窓口の設置や創業支援セミナーを開催しました。
- 農業については、農業の担い手が行う土地利用集積等に対する助成のほか、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規に農業経営者となる青年就農者に対する補助等を実施しました。
- 農作物の地産地消を促進し、農業者、商業者及び消費者の相互交流を深めるため、軽トラ市を開催しました。
- 地場産物の使用を推進するため、東郷町産の食材を積極的に給食で使用しました。
- 高齢者が気軽に集まっておしゃべりを楽しみ、悩みを相談できる場所を確保するための場所づくりを支援しました。

基本的方向

- 地域に根ざした産業の振興を目指し、既存産業の活性化を図るとともに、中小企業における技術革新、雇用を創出する新たな産業の誘致を進めます。
- 新たな産業を誘致するだけでなく、新規に創業を考えている創業希望者に対して、支援する体制づくりが必要となります。そのため、ビジネスモデルの構築、資金調達等、創業に必要な内容に応じて、相談窓口の開設や創業セミナーの開催等による支援ができるよう、金融機関等の関係機関と連携した体制を構築し、創業者、創業希望者に適切な支援を行います。
- 地産地消による農業の活性化を目指し、農家の担い手育成や生きがいに寄与する農業を推進し、町の特産品となる農産物・加工品の開発・普及を進めます。
- 農産物直売施設の充実や給食等での東郷町産食材の使用を進めるとともに、農地の有効活用を促進します。
- 女性が活躍し、高齢者や障がい者の方等がいきいきと自立して暮らせる環境の実現を目指して、就労や社会参加等を支援します。

数値目標

指標	現状値	目標値
町内従業者数※ ¹ （東郷町内の事業所で働く人の数）	12,704人	14,700人
東郷町内で働く町民の数※ ²	6,082人	6,300人

※¹ 経済センサス（現状値：H28 目標値：R 6 直近）

※² 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R 7）

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める

◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ●東郷町企業立地促進条例による奨励措置等により、新たな企業の立地を促進します。 ●新市街地候補ゾーン（工業系、研究開発系）を中心とした土地利用を促進します。
②町内企業の拡張・育成	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模企業等を対象に企業の拡張や人材の育成を支援し、既存産業の強化を図ります。
③高校・大学との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ●高校・大学における人材育成の一環として、協働のまちづくりを推進し、関係人口の創出・拡大につなげます。

◆KPI

指標	現状値	目標値
新規誘致企業数（累計）	10社	13社

(2) 創業支援体制を構築する

◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業を担う創業者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●創業者に対する相談・支援体制の強化を図り、創業者の新たなビジネス創出を支援します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
新規創業者数（累計）	37人	70人

(3) 地産地消による農業の活性化を目指す

◆具体的な施策

施策	内容
①担い手及び新規就農者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●新規就農を促進するため、就業の準備や就農に必要な技術・経営力の習得を支援します。 ●農業の活性化を図るための農学校やふるさと農園等の取組を継続し、農業の担い手を育成します。
②特産品の商品化支援	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物等の地域資源を活用した、産官学の連携による新たな特産品の開発を支援します。
③地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の直売や給食等での町産食材の使用、各種行事等を通じた地産地消に対する意識の高揚を図り、地産地消を推進します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
認定農業者数	6人	10人
商品開発数（累計）	22品	26品

(4) 全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①全世代・全員の活躍の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●シルバー人材センターや町民活動団体等と連携し、高齢者や障がい者の方等の就労や社会参加の機会の拡充を図ります。
②高齢者同士や子ども達との交流推進	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者同士や、子どもと高齢者の世代間交流を推進します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
東郷町シルバー人材センター会員就業率	72.9%	88.9%
住民参画や協働の主体として町政に関わりたいと思う町民の割合	13.9%	24.5%

3.2. 基本目標2 新しいひとの流れをつくる

基本目標2

新しいひとの流れをつくる



これまでの取組

- 東郷中央土地区画整理事業区域へつながる町道の改良工事に係る用地買収、一部区間の工事を施工しました。
- 居住に関連する施設の集中と公共交通施策を連携させる立地適正化計画を策定しました。また、東郷町エコまちづくり計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗管理を行いました。
- シティプロモーションの取組を強化するため、まちの魅力を動画で発信する「とうごうチャンネル」を毎年度制作し、ケーブルテレビやYouTube等で放送しました。また、東郷町の情報を発信するツイッターの開設等を行いました。
- まちに愛着を持っていただくため、結婚や出産などの記念に特別な広報紙を作成し、対象者に配布しました。
- 町内企業等の協力を得ながら返礼品の拡充を図り、本町への寄付の促進東郷ふるさと寄付をされた方に、感謝の気持ちを込めてお礼の品を贈呈しました。

基本的方向

- 現在の町役場周辺の公共公益施設や既存道路を最大限に活用しながら、まちの中心に不足するバスターミナルや商業施設等を誘導し、都市機能を集約することでまちの中心核をつくり、賑わいのあるまちを目指します。
- 広報紙やホームページのほか、まちの魅力や施策をPRする動画を各種媒体により放映等することで、町内外に向けて積極的に本町の魅力を発信します。こうしたシティプロモーションを推進することで、人の交流・定住の促進を図っていきます。
- ふるさと納税の拡充を図ることにより、新しいひと・カネの流れをつくり、産業のさらなる振興を図ります。

数値目標

指標	現状値	目標値
転入超過数（年間）※1	310人	270人
昼夜間人口比率※2	79.3%	84.9%

※1 総務省人口動態調査（現状値：H30 目標値：R6）

※2 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) 魅力あるまちの中心核をつくる

◆具体的な施策

施策	内容
①まちの中心核の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●東郷中央土地区画整理事業や道路改良等を進めることにより、新たな中心市街地を形成します。 ●町全体の低炭素化をリードする先導地区としてふさわしい様々な環境施策を導入し、環境にやさしいまちづくり及びコンパクトなまちづくりを推進します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
便利な魅力のあるまちの中心地がつくられていると感じている町民の割合	47.1%	64.0%

(2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する

◆具体的な施策

施策	内容
①シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●広報紙・ホームページの充実やシティプロモーション動画の活用により、本町の魅力を効果的に発信します。 ●SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やAI等の新技術を活用した情報発信を推進します。
②職場体験等の受入れの推進	<ul style="list-style-type: none"> ●職業意識形成に資する支援のほか、地元の職場としての魅力を発信するため、地域の将来を担う若者の職場体験等の受入れを積極的に推進します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	66.5%	73.0%
定期的に町のホームページを見ている人の割合	10.3%	28.0%

(3) ふるさと納税を活用して地域活性化を図る

◆具体的な施策

施策	内容
①ふるさと納税の拡充	●町内企業等の協力を得ながら返礼品の拡充を図り、本町への寄付の促進、町の魅力の発信、産業のさらなる振興等を推進します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
ふるさと納税の返礼品数	38品目	拡大

3.3. 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



これまでの取組

- 妊娠・出産の支援として妊産婦及び乳幼児を対象とした各種健診や、新生児・妊産婦訪問指導等を実施しました。
- 産婦健診の費用や、不妊や不育に悩む夫婦に対する治療に要する費用の一部を助成しました。
- 父親の育児参加意識を高めるため、妊婦体験や沐浴体験を土曜日や日曜日に開催しました。
- 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、第三子以降の保育料無料や子どもの医療費自己負担額を18歳まで無料化、未熟児に対する医療費の助成を実施しました。
- 小学校区全てで放課後子ども教室（きらきらこども）を実施したほか、共働き家庭の児童が放課後を安全・安心に過ごせるよう放課後児童クラブを6児童館（小学校区全て）で実施しました。
- 子育て支援の拠点として、3か所の子育て支援センターを運営し、ファミリー・サポート事業による子育て支援の充実、健康づくりセンターを拠点とした各種相談事業、父親の育児参加意識の向上のためのパパママ教室を開催しました。
- 妊娠期から子育て期にわたるまでの育児に関する様々なニーズに対応できるよう、母子健康包括支援センターを開設しました。
- 女性が仕事、家庭、趣味の分野等、自分が望む分野で自分らしく輝けるよう、町内在住在勤の女性を対象とした女性活躍推進講座を開催しました。また、男女共同参画を進める環境づくりとして、映画会の開催や町内在住外国人向けチラシの作成、男女共同参画情報誌の全戸回覧等を行いました。

基本的方向

- 安心して妊娠・出産できる環境をつくるため、気軽に相談できる体制の整備や妊婦健診を推進します。
- 高額な医療費のかかる不妊治療に対する助成を行い、不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減を図ります。
- 青少年を対象として、乳幼児とふれあう機会の充実に努めます。
- 次代を担う子どもたちの生きる力を育むため、小中学校において時代に即した教育内容や教育環境の充実に努めます。
- 安心して子どもを育てることができる環境を目指し、仕事と子育てが両立できるよう、保育サービスを始めとする多様な子育て支援施策の充実に努めます。
- 核家族化の進行や就労環境の多様化により、子育てを取り巻く環境も変化していることから、父親、母親ともに子育てに携われるように、育児について学べる機会の提供や親子のための子育て支援の充実に努めます。
- ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて、多様な働き方のできる職場環境の整備を促進してするために、啓発活動に取り組みます。
- 男女が平等で互いに尊重し合い、性別に関わりなく自立し、能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、仕組みづくりや推進体制づくりを進めるとともに、子育てにおける場面でも、男性の育児参加の意識向上に努めます。

数値目標

指標	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.50 ^{※1}	1.8 ^{※2}
安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	50.0%	53.0%

※1 町独自推計（平成29年度実績）

※2 国、愛知県の人口ビジョン同様に目標年次を令和12年（2030年）とする。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) 妊娠・出産を支援する

◆具体的な施策

施策	内容
①妊娠・出産の支援	●妊婦健診や不妊治療費の助成、不育症に対する支援、相談体制の充実を図ります。
②青少年を対象とした乳幼児とのふれあいの機会の充実	●園児と中高生の交流等を推進し、青少年が子どもとふれあう機会の充実を図ります。

◆KPI

指標	現状値	目標値
初産婦のパパママ教室参加率	39.8%	50.0%

(2) 安心して子育てができる環境をつくる

◆具体的な施策

施策	内容
①子育て世帯の経済的負担の軽減	●第三子保育料無料化や18歳までの医療費無料化等を継続し、子育て世代の負担軽減を図ります。
②子育て支援の充実	●放課後子ども教室や放課後児童クラブ、相談援助体制の拡充等、多様な子育て支援施策の推進を図ります。
③小中学校における教育内容や教育環境の充実	●グローバルな競争環境や社会の変化に対応できる子どもたちを育むため、小中学校においてICT環境の整備や英語教育の充実等を進めます。 ●給食費の負担軽減や不必要な食品添加物の添加された食品は使用しないなど、「食の安全」の確保を図ります。
④保育サービスの向上	●病児・病後時保育や一時保育等の充実を図るとともに、保育園の改修を進めます。
⑤子育て支援情報の発信	●広報・ホームページや子育てガイドブックや子育て支援専用サイト、スマホアプリ等の多様な媒体を通して、子育て支援情報を定期的に発信します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
保育所待機児童数	0人※	0人
子育て支援サービスに満足している町民の割合	30.2%	37.7%

※ 平成31年4月1日現在

(3) ワーク・ライフ・バランスを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①女性の活躍推進	●女性の就労支援とキャリア形成を促進するため、女性の活躍推進に関連するセミナーを開催します。
②ワーク・ライフ・バランスの推進	●町民や事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進にかかる情報提供と意識啓発を推進します。
③男女共同参画を進める意識づくり	●東郷町男女共同参画プランに基づき、職場・地域・学校・家庭等、社会のあらゆる領域で男女共同参画を推進するための取組を実施します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
女性の活躍推進に関するセミナー参加者数	21人	30人
パパママ教室の男性参加率	37.5%	50.0%
女性の就業率（25歳から44歳）※1	70.3%	73.1%※2

※1 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）をもとに算出

就業率＝（就業者／25歳から44歳の人口）×100で算出（分母から「労働力状態不詳」を除く）

※2 県の値（H27 国勢調査数値）

3.4. 基本目標 4 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本目標 4

安心して暮らせる魅力的な地域をつくる



これまでの取組

- 町民の移動手段を確保し、町内交流の促進及びまちの活性化を図るため、町内全域をカバーする巡回バスを運行しました。平成 30 年度の利用者数は 179,805 人で、年々増加しています。
- 平成 27 年度に東郷町地域公共交通網形成計画を策定したほか、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するための地域公共交通会議を開催しました。また、広域的な公共交通ネットワークの形成により利便性及び効率の向上を図るため、近隣 5 市町による広域路線網の調査・研究を行いました。
- 今後予定されている大型商業施設の開店やバスターミナルの整備に合わせた巡回バス路線等の再編案を町民の方々の意見を聴きつつ検討しました。
- 地域の伝統文化の継承や町民相互の交流を促進するため、東郷町民納涼まつりや文化財めぐり、歴史講座等を開催しました。また、東郷音頭を次世代に継承していくため、講習会を保育園・児童館等で実施しました。
- 交通安全対策として、交通安全教室の開催や各種交通安全キャンペーンを実施しました。
- 防犯対策として、防犯灯の LED 化や青色パトロールカーによる巡回活動、町内幹線道路上への防犯カメラの増設等を実施しました。また、園児、児童を対象とした誘拐・連れ去り防止教室や、地域を対象とした防犯教室を開催しました。
- 大規模災害発生時に迅速に応急対策を行えるよう、民間企業や団体等との災害協定の締結を進めました。
- 地域の防災力を高めるため、町総合防災訓練を実施したほか、自主防災組織の育成及び防災訓練等の各種活動を支援し、防災倉庫や災害用備蓄品を計画的に整備しました。
- 尾三地区自治体間連携として、行政の効率化や共通課題の克服のため、様々な分野の連携事業の調査・研究を行い、事業化につなげました。また、メタボ、認知症、運動機能の関係についての共同研究、地域医療連携センターの設置など、大学との連携による事業を着実に推進してきました。
- 健康づくりの支援として、各種がん検診や肝炎ウイルス・結核等各種検診を実施したほか、地区の健康に関する講座の実施や活動を支援しました。特定健診受診率や胃がん検診受診率については、伸び悩んでいる状況にあり、受診率向上に向けたさらなる取組が必要です。
- 高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行いながら、自らの介護予防・健康増進に積極的に取り組めるよう高齢者ボランティアポイント制度を実施しました。

基本的方向

- 公共交通の利便性を向上させるため、路線バスや周辺市と連携した巡回バスの運行体制の充実を図ります。
- 東郷中央土地区画整理事業を契機とした、新たな交通結節点となるバスターミナルの整備を進め、新しい交通網形成の推進を図ります。
- 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育むため、文化活動への参加機会の充実、文化団体の活動支援、魅力ある文化事業の企画開催、文化財の保全・活用、地域文化の情報発信等を進めます。

- 少子高齢化やコミュニティ意識の希薄化等にともない、地域の犯罪防止機能が低下し、空き巣や振り込め詐欺等、身近な犯罪への不安が大きくなっているため、警察、町、地区、学校、保護者等と連携しながら防犯対策を講じるほか、安全な環境を確保するために、防犯灯の整備充実に努めます。
- 火事や地震、風水害等の様々な災害に対して、地域と連携しつつ、自主防災組織の充実強化に努め、災害に強いまちづくりを推進していきます。
- 健康や教育等について大学等専門機関の持つ専門性を本町のまちづくりに生かしていくため、連携の強化を図っていきます。また、効率的な行政運営の観点から、自治体間で連携して行うことが住民サービスの安定供給やサービス向上につながる事務について検討・実施していきます。
- 本町は男女とも県内で平均寿命が高い位置にある長寿なまちとなっています。今後は平均寿命だけでなく、日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる期間である健康寿命の延伸を目指し、ヘルスプロモーションの推進を行います。

数値目標

指標	現状値	目標値
東郷町に住み続けたいと考える町民の割合	81.7%	85.3%
健康寿命の延伸	男性80.90歳※ 女性84.55歳※	延伸

※ 平成27年国勢調査数値を基に算出（いきいき東郷21（第2次））

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) 公共交通の基盤整備・機能強化を進める

◆具体的な施策

施策	内容
①巡回バスの充実と公共交通の利用促進	●東郷町地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道、路線バス、巡回バス及びタクシーが相互に補完し合い、住民の生活行動に応じた利用しやすく、合理的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成します。
②バスターミナルの整備と新たな交通網形成の推進	●まちの中心にバスターミナルを整備し、公共交通の連携を図り、自家用車がなくても移動しやすいまちを形成します。
③新たなモビリティサービスの活用	●バス・タクシー運行時におけるAIや自動運転技術、様々な移動を1つの移動サービスとして捉えるMaaS（Mobility as a Service）等の新たなモビリティサービスの活用を検討します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
じゅんかい君の総合的な満足度	53.3%	69.0%
バス等の公共交通機関の整備に満足している町民の割合	13.4%	21.6%

(2) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む

◆具体的な施策

施策	内容
①地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統行事や祭り、文化財等の保存・活用、各種教室の開催等により、地域文化の継承・振興を図ります。 ●中学生や高校生に対し、「ふるさと教育」を推進することにより、まちに対する愛着と誇りを醸成し、定住促進につなげます。

◆KPI

指標	現状値	目標値
地域で共に助け合い、支え合う風土があると考える町民の割合	30.3%	34.0%

(3) 地域の安全・安心を強化する

◆具体的な施策

施策	内容
①地域防災の推進	●自主防災組織の育成や消防団の充実・強化、風水害や地震災害に対応する総合防災訓練の実施等により、地域の防災力を高め、災害に強いまちを形成します。
②企業との連携強化による防災力の向上	●大規模災害発生時に迅速に応急対策を行えるよう、民間企業や団体等との災害協定の締結を進めます。
③安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故や犯罪の軽減のため、交通安全対策や青色パトロールカー巡回等を推進します。 ●防犯対策の強化のため、防犯灯の整備充実やLED化、防犯カメラの設置、地域の見守り体制の充実等を推進します。

◆KPI

指標	現状値	目標値
普段から防犯に心がけている町民の割合	65.1%	74.0%
地震や風水害等の災害に備えている町民の割合	39.6%	46.0%

(4) 産官学等の連携を強化する

◆具体的な施策

施策	内容
①大学等との連携	●誰もが健康で元気に暮らせるよう、産官学等の連携による健康づくりを支援します。
②自治体間の行政連携	●防災等、近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野において、尾三地区自治体間連携により事業の推進を図ります。

◆KPI

指標	現状値	目標値
大学等と連携して取り組む事業数（累計）	5事業	8事業
近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で新たに連携が行われた件数（累計）	9件	拡大

(5) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

◆具体的な施策

施策	内容
①健康づくり支援	●町民の健康づくりのため、がん検診・特定健診の実施や、生活習慣病予防・介護予防を推進します。
②運動・スポーツの習慣化支援を通じた健康づくり	●スポーツ分野と医療・介護・福祉分野の連携により、スポーツを通じた健康づくりを支援します。 ●町民レガッタの開催等を通じて、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

◆KPI

指標	現状値	目標値
特定健診受診率	45.4%	60.0%
胃がん検診受診率	13.7%	50.0%
乳がん検診受診率	28.1%	50.0%
成人の週1回以上運動・スポーツをしている町民の割合	39.1%	60.0%

4. 資料編

- 数値目標・KPI 一覧
- 総合戦略と SDGs との対応
- 策定経過
- 本部会議設置要綱
- 有識者会議設置要綱